

Press Release

July 1, 2021 | ID: 21-V036

ボルボ・コンセプト・リチャージは、ボルボ・カーズの電気自動車の未来へのマニフェストです

本プレスリリースは、6月30日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズにとって電動化とは、単にパワートレインの転換を意味するだけではありません。カーデザインの新しいパラダイムを意味しています。ボルボ・コンセプト・リチャージは、次世代のボルボの電気自動車に対するマニフェストです。

コンセプト・リチャージは、スカンジナビアデザインの伝統に忠実に、「より少なく、より良く」というマントラを核にしています。例えば、内燃機関の複雑さを取り除くことで、デザイナーは車のプロポーションを進化させ、室内空間を広げると同時に空力を向上させることができました。その結果、持続可能なファミリーライフをサポートするための真の意味でより良いソリューションを提供する車となりました。

ボルボの第一世代の電気自動車は、内燃機関を搭載した自動車とフロアを共有しており、バッテリーパックと内燃機関の両方を搭載できるプロポーションとスペースのバランスが求められました。

次世代の全く新しい電動化専用技術をベースとした最初の SUV 電気自動車モデルは、コンセプト・リチャージで示したように、フラットフロアを採用します。エンジンを取り除き、フラットフロアの下にフルバッテリーパックを搭載することで、デザイナーはホイールベースを延長しホイールサイズを拡大しました。その結果、オーバーハングが短くなり、フロントシートの上に大きな収納スペースを設けるなど、室内空間が大幅に拡大しました。

コンセプト・リチャージでは、これらの進歩により、デザイナーはボルボ XC40、XC60、XC90 などのドライバーに愛されている高いアイポイントを維持しながら、シートの変更、屋根のデザインを最適化し、ボンネットを下げることに成功しました。このアプローチにより、一般的な SUV と比較して空力特性が改善され、航続距離が伸びます。

また、このコンセプトカーは、ボルボの新しいデザイン言語を導入します。「より少なく、より良く」というマントラを継承し、不必要な要素はすべて取り除き、残ったものは高精度な平面加工で処理されています。

伝統的なグリルは盾のような構造に変更され、ボルボ・カーズの「トール・ハンマー」ヘッドライトのデザインに新たな解釈を入れています。このヘッドライトには、最新の HD テクノロジーを駆使したピュア・グラフィックが採用され、夜間になると必要に応じてメインランプユニットが現れます。

縦型のリアランプは、ボルボの伝統的なデザインを踏襲していますが、スポイラーとともに新しいイメージが与えられています。高速走行時にはスポイラーが空力特性をさらに向上させます。

デザイン部門の責任者であるロビン・ペイジは、「コンセプト・リチャージは、ボルボ・カーズの電気自動車の未来への宣言であると同時に、新しいタイプの車両でもあります。また、このコンセプト・リチャージは、利便性の向上と共に、新しいモダンなプロポーションを示しており、テクノロジーがデザインの面で可能にするものを示しています」と述べています。

ボルボのデザイン言語は、コンセプト・リチャージの内装でも新しい形をとっています。フラットなフロアは、車内にいるすべての人に、より広いスペースとより良い着座位置を提供します。

新しい 15 インチの大型スタンディング・タッチスクリーンを中心に、ボルボの次世代コネクテッド・インフォテインメント・システムはユーザー体験を改善しました。論理的かつ直感的に使えるように設計されたテクノロジーは、穏やかで落ち着いた体験を提供するのに役立ちます。

最新のインフォテインメント技術は、スカンジナビアデザインのもう一つの特徴である、クリーンなラインと、持続可能な天然素材をキャビン内に広く使用することと密接に関係しています。

「コンセプト・リチャージでは、スカンジナビアのリビングルームのような雰囲気を演出しています。インテリアは、最新のユーザー体験技術と、サステナブルで美しい自然素材が融合されています。インテリアの各パーツはアート作品のようであり、個々の家具として独立させられるほどです。私たちは最新のテクノロジーを使用していますが、それだけが目的ではありません。私たちは常に、テクノロジーがもたらすメリットに注目しています」とロビン・ペイジは述べています。

最後に、コンセプト・リチャージには、ボルボ・カーズの今後の安全性に関する高い目標も反映されています。ルーフの最適位置には、Luminor(ルミナー)製の LiDAR センサーが設置されており、ボルボ・カーズの安全な自律走行技術を実現するための重要な要素となっています。

ロビン・ペイジは、「コンセプト・リチャージでは、ボルボのデザイン DNA の豊かなルーツを現代的で新鮮な方法で継承しながら、電気自動車の未来に向かって進んでいます。お客様が電気自動車であるボルボに期待することをすべて表現しており、これらを次世代の車に反映させることに興奮しています」と締めくくりました。

2020 年のボルボ・カー・グループ

2020 年度のボルボ・カー・グループの営業利益は 85 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(2019 年度は 143 億 SEK)を記録しました。売上高は 2,628 億 SEK(前年 2,741 SEK)に達しました。2020 年通年の世界販売台数は 661,713 台(705,452 台)で、2019 年と比較して 6.2%の減少となりました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つで、2020 年には約 100 カ国で 66 万 1713 台を販売しています。2020 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 40,000 人(前年 41,500 人)で、ボルボ・カーズの本社、商品開発、マーケティング、管理機能は主にスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。

ボルボ・カーズは、企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数を 50%にし、500 万人のお客様とのダイレクトコンシューマービジネスの確立を目指しています。また、ボルボ・カーズは 2040 年までにクライメート・ニュートラルを実現することを目指し、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited